



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社細田工務店
代表者名 代表取締役社長 阿部 憲一
(コード：1906、東証 JASDAQ)
問合せ先 執行役員経営企画部長 武藤 雅康
(TEL. 03-5397-7751)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期を初年度とする第二次中期経営計画（3ヶ年）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景と目的

当社は、「暮らしをやさしくつむ家」をテーマに、主力である分譲住宅事業「グローイング・シリーズ」を中心に、注文住宅事業、リフォーム事業、法人受注事業を手掛け、自社一貫体制による高い品質の住まいづくりに取り組んでまいりました。

近年の住宅市場を取り巻く経済環境は、低金利の継続や各種住宅取得促進政策の実施による需要喚起策の継続や、地価の回復など各種の指標にも改善の兆しが見えている一方、平成 29 年 4 月に予定されている消費税増税に伴う駆け込み需要やその反動の影響など、予断を許さない状況は今後も続くものと予想されます。

このような厳しい経営環境下にあって、当社は、「市場変化に対応できる体質の構築」を基本方針として、成長事業へ経営資源を再配分する事業ポートフォリオを構築するとともに、建築コストの低減ならびに販売費及び一般管理費の低減などによるコスト構造の適正化を目的として、第二次中期経営計画を策定いたしました。

2. 計画期間

平成 29 年 3 月期～平成 31 年 3 月期（3ヶ年）

3. 基本方針

「市場変化に対応できる体質の構築」

4. 計画概要

(i) 不動産事業と建設事業等の売上比率の均衡

- ・分譲事業・・・収益性を重視した用地取得を推進し、売上規模については90億円程度とする。
- ・建設事業・・・売上高ならびに利益率を重視し、利益率の高い注文事業・法人受注事業、リフォーム事業で売上規模を80億円程度とする。

(ii) 建設事業等の伸長

- ・注文受注事業・・・モデルハウス展開を積極的に実施
- ・法人受注事業・・・安定的な継続受注の推進と新規法人開拓の実施
- ・リフォーム事業・・・本社1階を改装し、常設のショールーム化を実施するとともに店舗展開を検討

- ・ 仲介事業・・・新規事業として当社の住宅にお住いの方や一般顧客の仲介事業を手がけることにより、ストックである中古住宅から仲介手数料のみならず、分譲・注文・リフォームの新たな収益源の開拓を実施
 - ・ 設計受注・・・住宅・非住宅を問わず受注可能性の探索を実施
- (iii) 新商品の開発・供給
- ・ 分譲住宅、注文住宅、法人受注については、2020年のネットゼロエネルギー住宅（ZEH）の標準化に向けた商品開発と「もっとかしこく、もっと楽しく、もっと安心」をテーマとしたスマートハウスの開発
 - ・ リフォームについては、注文商品「木こち壺」に準じた「木のぬくもり」を感じられる商品開発
- (iv) コスト構造のスリム化
- ・ 建築コストの低減・・・コストダウンプロジェクトの推進と建築工期の短縮
 - ・ 販売費及び一般管理費の低減

5. 数値目標（個別）

	平成 29 年 3 月期	平成 30 年 3 月期	平成 31 年 3 月期
売上高	20,025 百万円	17,793 百万円	17,786 百万円
営業利益	461 百万円	502 百万円	517 百万円
経常利益	205 百万円	278 百万円	281 百万円
利益率%	1.02%	1.56%	1.58%

以 上